

# 農業と福祉の連携で広がる新たな可能性 ぎふの農福連携

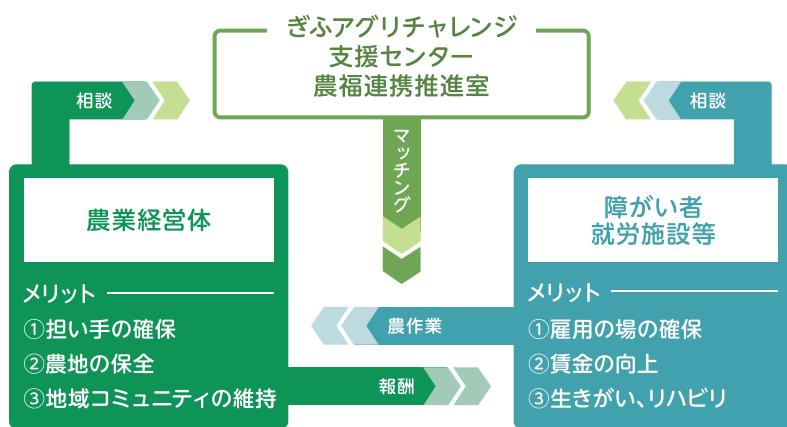
清流の国ぎふ  
ミナモ通信

清流の国ぎふ  
マスコットキャラクター  
ミナモ

## いま注目される農福連携(ノウフク)って?

農業分野における障がい者の活躍は、農業経営の安定・向上が期待されるとともに、福祉の視点からは障がい者の社会参加や自立した暮らしの実現が期待される取り組みです。岐阜県内では、141の団体・事業者が農福連携を実践しています。

県では、ぎふアグリチャレンジ支援センター内(岐阜市)に農福連携のワンストップ総合窓口を設置。誰もが自信や生きがいを持ちながら暮らすことができる共生社会の実現を目指し、農福連携を推進しています。



### 農業サイドの声

#### 地域の特産品を未来へ受け継いでいくうえで 障がい者の皆さんは心強い味方です

市場から高く評価されている中濃地域の特産品「円空さといも」。収穫や出荷作業が重労働で、担い手の高齢化と共に生産者数は減少していましたが、就労支援施設「それいゆ」さんに作業を委託して、作付面積も一緒に増やすことができました。「仕事が丁寧」「ほかの作業ができるのでありがたい」と、農家の皆さんも喜んでいます。



JJAめぐみの 武藤保さん

### 福祉サイドの声

#### 「ありがとう」「助かったよ」の声が やりがいと自信につながっています

円空さといもの収穫や選別といった出荷作業を通して、農家や地域の信頼を得ることができました。休憩のお茶に誘われるなどの交流もあります。

障がい者の方たちにとって、「生産者から声をかけてもらえた」「頼りにされた」「地域の仲間になれた」という経験は貴重で、無類の喜びとなっています。



それいゆ【(株)DAI】 中島望さん

### ノウフクを知る

#### 実はこんなにたくさんあるんです! ぎふの農福連携商品を知ろう

「ぎふのノウフク商品カタログ」では、農福連携に取り組み生産した17事業者の商品全37種類を紹介しています。カタログは、ぎふアグリチャレンジ支援センターのウェブサイトで公開中です。



#### 心を込めて丁寧につくられた逸品との出会い 全国農福連携マルシェinぎふ

対面販売コーナーや障がい者の農作業をVRで紹介するなど、農福連携の魅力を発信するイベントを行いました。今後も定期的に販売コーナーを設置していく予定です。



会場の様子(11月5・6日、イオンモール各務原)

### 第一歩を応援!農福連携に関するギモン・質問はこちらへ

一般社団法人岐阜県農畜産公社 ぎふアグリチャレンジ支援センター農福連携推進室  
住所:岐阜市薮田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎 / Tel.058(215)1503

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

